

信越ハーネス株式会社

Pick Up!

平成26年度

事業計画名

多品種少量短納期製品のリードタイム短縮とコストダウンへの取組

概要

多品種少量短納期化という医療機械市場のニーズに対応し、品質を犠牲にせずに、リードタイム短縮と原価低減を両立させる生産システムを確立し、試作品・小ロット品の受注確率を高めつつ、収益面での貢献を目指す。

分類

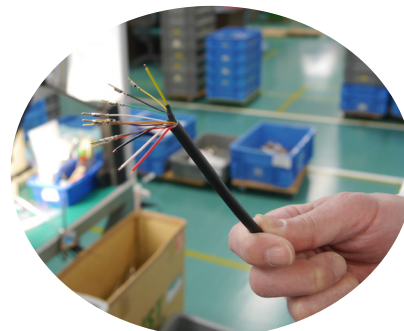
＜対象類型＞ ものづくり技術

＜事業類型＞ 設備投資のみ

成果

多品種少量短納期化という医療機械市場のニーズに対応するため、専用の生産ラインを構築し、品質を犠牲にせずにリードタイム短縮と原価低減を両立させる生産システムを確立した。

今後は顧客からの引き合いに十分対応できなかった試作品・小ロット品の受注率の向上を目指す。



ケーブル先端部



圧着工程



整理・整頓が行き届いている工場

平成25年度

事業計画名

次世代自動車向けワイヤーハーネスに関する技術開発

概要

次世代の自動車に搭載が期待されている、光ファイバーと従来の銅線を一体化したワイヤーハーネスについて、次世代自動車産業の求める品質・コスト・納期に関するニーズをふまえつつ、製品化に向けて技術開発を行う。

平成27年度

事業計画名

社内ネットワークシステムを積極活用した生産プロセスの改善

概要

顧客ニーズに対応すべく、ワイヤーハーネス製品の品質を維持・向上しつつ、顧客の同期生産に対応した工程管理や工程内の品質管理について、社内ネットワークシステムを積極活用して、コストを削減しながら実施する。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

信越ハーネス株式会社（岡谷市）

女性創業者ならではの視点と環境づくりで成長。
自動化推進など先進の取り組みで業界が注目。

女性が継続して働きやすい環境づくり

さまざまな機械機器内には血管のように電気配線が張り巡らされ、各部品に電力や電気信号を伝達しています。この電線・ケーブルと端子、コネクタなどを組み立てた部品集合体を「ハーネス」と呼び、製品そのものの品質を左右しています。



さまざまな機械に使用されるハーネス

信越ハーネスは、1982（昭和57）年創業のハーネス専門メーカー。電気・電子機器、産業機械分野を中心に量産品製造を得意とする、全国業界でも有数の会社です。特に電線（ケーブル）の芯線を圧着端子に結線する工程に必要な工具（アプリケーションター）では、端子それぞれの形状に合った約300種類のメーカー純正品を保有。全国でもトップクラスの規模を誇ります。

「当社は母（現会長）が大手電子機器メーカーの部品組立内職を始めたのがきっかけで、ハーネスメーカーから製造技術を修得。メーカーからの勧めもあり独立開業したのが始まりです。細ものの電線加工から、より付加価値の高いケーブルの加工へとシフトするなど、事業拡大にともなって移転をくり返しなが、今日まで順調に伸びてきました」。

ハーネス製造は手先の器用さや丁寧さから女性が多く、同社も3分の2が女性社員。さらに創業者が女性ということもあり、産休中も手当てをつけるなど女性が継続して働きやすい環境づくりに力を入れています。さらに創業以来の「顧客第一主義」に加え、「従業員満足」を追求。新たなシステムによる人事考課制度を導入し、社員一人ひとりの頑張りに応え、やる気を引き出そうと取り組んでいます。

多品種・少量・短納期に対応する

電気を伝えるケーブルを必要な長さにカットし、必要な本数を束ね、その先端の被覆を剥いて芯線を端子やコネクタと接合する。

このハーネスの製造工程においては、構造が複

雑なものや1本からの加工対応もあるため、多くが人手に頼っています。同社では積極的に5S活動に取り組むなど、生産効率や品質向上を目指した環境づくりに力を入れています。

一方、近年引き合いが増える医療機器業界から高まっているのが、多品種・少量・短納期製品のリードタイム短縮とコストダウンニーズ。そこで同社では、ケーブルの被覆を精密にカットする高精度ストリッパー、切断から皮剥まで一貫して行うケーブル加工機、配線色の自動検査機などを導入（平成26年度補正ものづくり補助金活用）。品質を犠牲にせず、リードタイム短縮と原価低減を両立する専用の生産システムを確立するとともに、時間を決めて計画的に生産の分散化を図ることで自動機の効率的稼働を実現しています。

同社ではペーパーレスを目指した生産管理システムの導入など、先進的なものづくり環境を整備。無線化の流れや、EV化にともなう自動車業界への参入など、新たな課題対応への準備も進めています。



バリエーション豊富なアプリケーションター群



女性が活躍する社内（組立工程）



ケーブルの被覆をカットする高精度ストリッパー



信越ハーネス株式会社

代表 代表取締役 望月 威彦
創業 1982（昭和57）年6月
資本金 3,500万円
従業員数 54名
本社 岡谷市加茂町1-7-17



TEL.0266-23-1882 FAX.0266-23-4041

事業内容 電線端末加工、ハーネス加工・組立

<https://www.shinetsu-h.co.jp>